

平成25年度飯豊町消防団 消防操法大会



出場隊

● 小型ポンプ操法の部

第一分団第四部第二班 (沖)

第二分団第四部第一班 (上野・坂ノ下・駅前)

第四分団第二部第一班 (向原・向原北)

第二分団第二部第二班 (二本松・高柳・五反田)

第三分団第二部第二班 (昭和)

第四分団第六部第一班 (西高峰・中通・橋本)

● 小型ポンプ積載車操法の部

第一分団第三部第二班 (酒町・中北)

第五分団第一部第一班 (岩倉・岳谷・川内戸・白川)

第二分団第一部第一班 (吉長・旭)

● ポンプ車操法の部

第三分団第四部第一班 (東山・中洞・大旦・下川原)

第四分団第一部第一班 (八幡・町中・落合)

消防団の熱い夏！「目指すは勝利、そして支部大会へ」

日時：平成25年6月30日(日)

8:30 ~ 12:00

場所：飯豊町民総合センター「あ～す」駐車場

消防団員募集！

消防団は、自分の仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちが守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域防災活動のリーダーとして活躍するとともに、幅広いコミュニティ活動を通じて、地域振興の維持増進にも中心的な役割を果たしています。

消防団と地域の皆さんとのふれあいを大切にした活動は、安心・安全なまちづくりの実現に欠かせないものです。

まちを愛する一人ひとりの力を結集すれば、地域の安全は確かなものになります。

だからこそ、いま、消防団にあなたの力が必要です。



入団に関するお問い合わせ先

飯豊町役場 総務企画課 情報防災室

72-2111 (代)

西置賜行政組合消防署 飯豊分署

72-2222



飯豊町消防団広報紙 Vol. 2(平成25年6月号)

きずな



飯豊町の生命と財産を守るため 「防災レンジャー」始動！

飯豊町消防団 分団活動紹介

本部分団

- 分団長：高橋 弘之
- 副分団長：舟山 純也
- 分団員数：36名



私たち本部分団は3班編成で構成されており、それぞれ活動範囲や内容が異なります。今回は1部3班に焦点を当てて、活動を紹介します。

本部分団第1部第3班は班長以下11名の女性のみで構成された隊です。主な活動としては、応急手当の普及や高齢者宅へ訪問しての防火指導、各種消防行事での司会進行などの裏方などです。新たに、今年度の消防演習において、消防団員の規律心を養い、軽快な動作と厳正な態度を身に付ける各個訓練を実施しました。また、火災防ぎょ訓練の際のD-1級ポンプによる水出し訓練を行いました。日々の仕事や帰宅をしてからの家事に追われながらも、長時間にわたる事前訓練を重ね、演習当日には素晴らしい団結力を示すことができたところです。

東日本大震災では、女性消防団員が避難所における子供たちや高齢者へのサポートや女性の目線に立った避難所運営などで活躍をされ、注目を集めました。女性にしかできない活動がまだまだあるはずですが、仕事と家事と消防団活動を両立することは難しく、家族に負担を掛けていますが、地域の安心・安全を守る消防団員としての意識を高めながら、これからも日々精進していきたいと思っています。

第二分団

- 担当地区：黒沢・椿
- 分団長：渡部 信義
- 副分団長：石原 朝博
- 分団員数：77名



平成24年度の2分団の活動内容は、5月に南陽市で行われた、最上川水防演習に2分団としては分団長以下9名が参加しました。2班に分かれて、月の輪工法と積土のう工法を行いました。飯豊町消防団の代表として、素晴らしい作業内容を見せられたと思います。10月の防災訓練でも、2分団で積土のう工法の水防訓練を行っています。

6月の操法大会では、小型ポンプの部に、1部1班、積載車の部に3部2班が出場しました。2班とも残念ながら優勝できませんでしたが、練習をした成果が出たと思います。次回出場したときは、優勝してくれると期待しています。

9月には「椿劇場2012」の警備として参加しました。

また、冬には防災設備の除雪活動も行っています。その他では、機関講習、普通救命講習会、めざまの里まつりの輪おどり等にも参加して、地域住民の生活に役に立てるようがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。

第四分団

- 担当地区：小白川・手ノ子・高峰
- 分団長：横山 清彦
- 副分団長：小関 貴典
- 分団員数：102名



第4分団は、分団長以下104名6部9班体制で活動しています。

町の消防行事以外に4分団では、「頭渡し」という分団の会計当番を1年間担当してもらうための会計引継ぎ式を毎年行っています。

平成25年度も4月28日に後藤町長、田辺団長をはじめとする多数の来賓の方々、立ち会いのもと無事に「頭渡し」をすることができました。頭渡しがいつ頃から始まったのかは不明ですが、第4分団の伝統行事として後世に引き継いでいきたいと考えています。

私たち消防団は、地域住民の方々が安心して生活できるように、日々、予防消防や啓蒙活動に励み、防災に携わる機関として活動を行っています。これからも町民の皆さまのご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

第一分団

- 担当地区：中・萩生
- 分団長：山口 利行
- 副分団長：冨永 俊博
- 分団員数：92名



町消防団1分団は、萩生、中地区を管轄とし、分団長以下団員93名、積載車3台、軽積載車2台、小型ポンプ3台により、地域の安心・安全を守るための活動を行っています。

日頃から、ポンプや車両の点検、機械器具の操作訓練、貯水槽の泥上げ、降雪期は水利の除雪なども行い、有事の際すぐに出動できるよう備えています。

また、予防消防活動として、定期的に地域内での防火広報や、各世帯に訪問しての消火器の点検、地域の自主防災組織と協力しての避難訓練や消火訓練などを実施し、火事が起きないように、また発生した際の被害を最小限にとどめられるよう努めています。

昨年8月に初めて開催された「中夏祭り」では、火災防御訓練を披露しました。地域の皆さんに消防団の活動を知っていただく機会、また子どもたちが消防団員を志す機会として大変有意義だったと思います。今後も地域の安心・安全を守るため、消防団活動に尽力していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第三分団

- 担当地区：添川・松原
- 分団長：横澤 祐次
- 副分団長：二瓶 広和
- 分団員数：60名



第三分団第四部を紹介します。第四部は三年前に一部二班制から一部一班制に統合しました。

現在、東山・中洞・大旦・下川原部落の地域で構成され、十八名の団員が所属しています。活動としては、毎月二十日の消防設備の点検及び巡回、秋の防火水槽のゴミ上げ、祭礼等での警備、ひめさゆり荘避難訓練支援、自主防災会合同訓練等に積極的に取り組んでいます。

町の操法大会では常に優勝し、西置賜支部大会に出場しています。二十五年度は、自動車ポンプ操法に出場が決まり新しいメンバーで、班員一丸となり優勝めざして訓練を積み重ねています。

これからも、地域住民の方から頼りにされる消防団であるように、頑張っていきますので、御指導・御鞭撻よろしくお願いいたします。

第五分団

- 担当地区：中津川
- 分団長：伊藤 幸雄
- 副分団長：鈴木 泉
- 分団員数：41名



第五分団は、中津川地区全域を担当しており、機能別消防団員15名を含み、分団長以下42名で活動しています。

機能別消防団員は、団員の減少や団員の勤務先の関係などの様々な条件により、元消防団員を中心に機能別消防団を平成23年度に設置していただきました。そして24年度には、2部4班体制から1部2班体制へと班編成、組織編成を行い現在の体制になっています。

昨年の飯豊町での8件の火災の内、2件が5分団地内での火災であり、両件とも機能別消防団員に出動してもらい、一般の団員と共に、初期消火活動をおこない鎮火に貢献しました。地元で仕事を持たれている方が機能別消防団員になっていただいていることで今回の結果につながっています。機能別消防団員は、ほとんど報酬らしいものはなくボランティアのような待遇ですが意欲的に参加していただき感謝申し上げます。

団員は、消防演習や操法大会等年間行事はもちろん、一部の団員は、町防犯協会にも所属しており、防火パトロールと合わせて防犯パトロールも行っています。特に学校での窃盗事件があったところは、特にパトロールの強化をしました。

犯罪も火災も未然に防ぐことが大事です。今後も団員の力を合わせて中津川の安心安全の確保に努めたいと思います。